

静岡県月例経済報告

(令和4年1月号)

……令和3年11月を中心とした県内経済のすがた……

No. 549

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	7
・需要面	7
・生産面	15
・雇用面	17
・その他	20
III 静岡県主要産業の動向	24
IV データからみた県内主要産業	27

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和3年11月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概況

令和3年11月を中心とした静岡県の景気は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が緩和に向かいつつあるが、供給面の制約等により足踏み状態が続いている。

先行きについては、全体としては持ち直しの動きが期待されるが、新型コロナウイルス変異株等の動向に十分注意する必要があるほか、原材料価格の動向や部品供給停滞等の影響に留意する必要がある。

雇用情勢は、全体として厳しい状況にあるものの、改善の動きがみられる。

- ・ 個人消費は、供給制約などの影響を受けている一部品目を除き、持ち直しの動きがみられる。
- ・ 設備投資は、増加の動きがみられる。
- ・ 輸出は、おおむね横ばいとなっている。
- ・ 生産は、弱めの動きとなっている。

(下線部は前月からの変更箇所)

需要面

「個人消費は、供給制約などの影響を受けている一部品目を除き、持ち直しの動きがみられる」

大型小売店販売額(11月)は、百貨店が前年実績を上回ったものの、スーパーが前年実績を下回ったため、総額でも2か月ぶりに前年実績を下回った。

専門量販店等販売額(11月)は、ドラッグストアが前年実績を上回ったものの、家電大型専門店、コンビニエンスストア、ホームセンターが前年実績を下回ったため、総額でも3か月ぶりに前年実績を下回った。

自動車(新車)新規登録台数(11月)は、乗用車、軽自動車がいずれも前年実績を下回ったため、総数でも5か月連続で前年実績を下回った。

「住宅建設は、前年を上回った」

新設住宅着工戸数(11月)は、持家、貸家、分譲住宅がいずれも前年実績を上回ったため、総数でも2か月連続で前年実績を上回った。

「公共投資は、前年を下回った」

公共工事請負金額(11月)は、2か月ぶりに前年実績を下回った。

「設備投資は、増加の動きがみられる」

日銀短観(12月調査)の令和3年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業で増加、非製造業で減少、全産業で増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製

造業で増加、非製造業で減少、全産業で増加する計画となっている。

着工建築物床面積（非居住用）（11月）は、4か月連続で前年実績を上回った。

「輸出は、おおむね横ばいとなっている」

「輸入は、前年を上回った」

輸出総額（11月）は、自動車が6か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機、二輪自動車類がいずれも2か月ぶり、エアコン、自動車の部分品がいずれも9か月連続、科学光学機器が5か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも2か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額（11月）は、紙類及び同製品、自動車の部分品がいずれも2か月連続で前年実績を下回ったものの、木材が9か月連続、パルプが8か月連続、原動機が10か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも10か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、1,010億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、弱めの動きとなっている」

鉱工業生産指数(11月)は、業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械が8か月連続、化学が2か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品が7か月連続で前年水準を上回ったものの、電気機械が5か月連続、輸送機械が6か月連続、食料品・たばこが4か月連続で前年水準を下回ったため、総合でも3か月連続で前年実績を下回った。また、前月比は2か月連続で上昇した。

なお、鉱工業在庫指数(11月)は、総合では前年と同水準であった。

雇用面

「雇用情勢は、全体として厳しい状況にあるものの、改善の動きがみられる」

有効求人倍率(11月)は1.13倍で、前月を0.03ポイント下回り、6か月ぶりに全国値を下回った。

雇用保険受給者実人員(11月)は、6か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数(10月)は、2か月ぶりに前年実績を上回った。

その他

「金融環境は、貸出残高は前年を下回り、信用保証金額は前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高(11月)は、前年同月比 1.8%減と前年実績を下回った。

信用保証協会保証金額(11月)は、前年同月比 42.9%増と前年実績を上回った。

「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を下回った」

企業倒産（12月）は、月件数は13件（前年同月比 31.5%減）、負債総額は1,278百万円（同 34.1%減）と、いずれも前年実績を下回った。

まん延防止等重点措置(1/27～2/20)に係る要請 と協力金制度

まん延防止等重点措置の営業時間の短縮要請に応じていただいた事業者には、協力金を支給します。

1 要請の概要

措置	まん延防止等重点措置
要請期間	令和4年1月27日(木) 0時から 令和4年2月20日(日) 24時まで(25日間) ※準備期間：令和4年1月27日(木)から 令和4年1月30日(日)
措置区域 (要請の対象区域)	静岡県全域
営業時間短縮及び 酒類提供停止の要請	ア 第三者認証(ふじのくに安全・安心認証制度、 はままつ安全・安心な飲食店認証制度)を受けた飲食店 下記の要請内容①、②のいずれかを選択し対応する ①営業時間短縮(5時から <u>20時</u> までの間)、 酒類提供 <u>終日停止</u> ②営業時間短縮(5時から <u>21時</u> までの間)、 酒類提供 <u>可</u> (5時から <u>20時</u> までの間) イ 第三者認証を受けていない飲食店 ・営業時間短縮(5時から <u>20時</u> までの間)、 酒類提供 <u>終日停止</u>
対象施設	食品衛生法第55条の営業許可を受けた飲食店(デリバリー、テイクアウト、ホテル・旅館において宿泊者に限定して食事を提供する食堂、コンビニ等のイートイン等は除く。飲食業の許可を受けているカラオケボックス、結婚式場を含む。)

2 協力金制度の概要

<p>協力金対象事業者</p>	<p>対象区域内で営業時間の短縮要請に応じ、かつ下記に該当する事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象区域に施設を有する企業及び個人事業主 ・静岡県暴力団排除条例第2条に規定する暴力団関係者でないこと
<p>支給条件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・業種別ガイドラインを遵守した上で、営業時間の短縮要請期間(準備期間を除く)の初日から終日まで、連続して要請に応じること。
<p>協力金の支給額</p>	<p>一店舗あたりの支給額の計算方法</p> <p><中小企業・個人事業主></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1の要請内容のア①又はイに応じた場合 飲食業売上高により、3～10万円^{※1}×協力日数 ※1 2021年、2020年又は2019年のいずれかの同時期の売上高×0.4 ・1の要請内容のア②に応じた場合 飲食業売上高により、2.5～7.5万円^{※2}×協力日数 ※2 2021年、2020年又は2019年のいずれかの同時期の売上高×0.3 <p><大企業> (※中小企業・個人事業主も選択可)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲食業の売上高減少額により、0～20万円^{※3}×協力日数 ※3 2021年、2020年又は2019年のいずれかの同時期の売上高減少額×0.4 (別途、売上高に応じて上限額を設定)
<p>申請受付期間</p>	<p>令和4年2月21日(月)から 令和4年3月22日(火)まで (令和4年3月22日(火)の消印有効)</p>

※詳細については、県ホームページでも御確認ください。
<https://www.pref.shizuoka.jp/kinkyu/covid-19.html>

お問い合わせ先

静岡県営業時間短縮要請コールセンター
 (午前9時～午後5時(土日祝日含む))
(050-5211-6111)

しずおか産業創造プラットフォーム

- 新たな事業展開に向けたヒントを得るための -
オンラインコミュニティ

支援情報検索ツール

会員登録不要



<https://shizuoka-sangyousouzouupf.jp>

1 🔍 見つかる

どなたでも利用が可能

支援制度を探す

※内容の詳細につきましては、必ず御自身で確認をお願いします。
また、不明な点につきましては、実施機関へお問い合わせください。

フリーキーワード
ワード

実施機関区分 国 県 支援機関

支援区分 補助金・助成金 融資制度
 専門家派遣 視察派遣

利用目的 販路開拓 付化 設備導入
 新製品開発 新事業展開
 人材 起業前案 資金繰り
 災害対応 事業承継
 知的財産

補助上限額 100万円以下
 100万円超～500万円以下
 500万円超～1,000万円以下
 1,000万円超

[この条件で検索する](#)

検索結果

クリックすると支援情報の詳細が表示されます

実行終了日: 2023/09/21

経営革新計画促進事業費補助金

補助上上限額: 5,000,000円

制度概要: 経営革新計画促進事業補助金に対して、経営革新計画の実現を支援するため、新商品・新技術・新設備導入、販路開拓及び生産性向上への取組を助成する制度を創設しています。対象者: 中小企業等経費化法に基づき認定された経営革新計画を実施する中小企業者及び組合等

実行終了日: 2023/10/08

小規模企業経営力向上支援事業費補助金

補助上上限額: 500,000円

制度概要: 県内小規模企業を対象として、「新たな需要の開拓」又は「生産性の向上」を目的として行う工夫・連携による新たな取組に要する経費を助成します。対象者: 小規模企業（当該制度の利用決定後及び認定申請時時点）

中小企業等応援基金 一般枠（国の月次支援金の要件緩和）

補助上上限額: 100,000円（メニューにより異なる）

制度概要: 中小企業等応援基金の活用による新たな取組・新規事業の展開を支援するため、県上り認定した県内の中小企業等事業継続を促す取組に要する経費を助成します。対象者: 認定された中小企業等

経営革新計画促進事業費補助金

制度概要

制度概要では、経営革新計画促進事業に対して、経営革新計画の実現を支援するため、新商品・新技術・新設備導入、販路開拓及び生産性向上への取組を助成する制度を創設しています。

対象者

中小企業等経費化法に基づき認定された経営革新計画を実施する中小企業者及び組合等

その他の制度内容

実施機関	静岡県
補助率・助成率	1/2
補助上上限額・補助上限	5,000,000円
利用目的	新商品開発、新技術開発、新設備導入、販路開拓、生産性向上
制度詳細ページ	http://www.pref.shizuoka.jp/kenseisaku/550/sangyosouzouupf.html
問合せ先	経営支援課 054-221-2326
受付日について	2023年8月27日
受付終了日	2023年9月21日

サイト下部から、次の区分で支援情報を検索できます。
・実施機関 ・支援区分 ・利用目的 ・補助上限額

会員制コミュニティサイト

登録無料



<https://app.tailorworks.com/community/shizuoka>

2 🗨️ つながる

会員登録が必要

Tailor Works

しずおか産業創造プラットフォーム

みんなの相談

しずおか産業創造プラットフォーム事務局 投稿 11月1日

閲覧したばかりのご返信です。こちらは「みんなの相談」ルールです。

悩みごとの相談を公開することで、解決策をみんなで話し合うことができる交流ルームです。気軽に利用できる「相談する」をクリックすると、入力フォームが公開されます。入力の正確性を確認してください。

また、ほかのメンバーと個別に、チャット機能により、アプリで相談をすることも可能です。

投稿内容は全ての利用者に公開されますので、相談の内容については、自己責任で、投稿をお願いします。

また、事務局や一部利用者にのみ相談したい場合は、このルールではない方法で対応が可能です。詳細につきましては、個別にご案内いたしますので、お気軽にダイレクトメッセージの送信をお願いいたします。

返信する

企業の困りごとが投稿されると、公的支援機関等が投稿にお答えします。また、テーマ別の交流ルームでは様々なメンバーが集まり、意見交換を行うことができます。

3 📧 情報が届く

しずおか産業創造プラットフォーム

NTTフナシリティーズ 技術ニーズ説明会

静岡県 IOT 推進ラボ

TECH BEAT

静岡県主催 再工業電気利用促進セミナー

先端産業

中小企業 新ものづくり 新サービス展

新たな支援情報やセミナー・イベントの情報をお知らせします。

【お問合せ先】

(公財)静岡県産業振興財団
企画・創業支援チーム

電話 054-254-4511
メール sougyou@ric-shizuoka.or.jp

静岡県経済産業部産業政策課

電話 054-221-2650
メール sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

<トピックス> 業種別の経済・雇用情勢

① 県制度融資の利用状況

(R4年1月25日時点)

区分		申込状況		
		金額	件数	業種別の状況
R 2	新型コロナウイルス感染症対応枠(旧) 【R2.2.12~4.17終了】	億円 2,334	件 8,158	卸小売業23.5%、製造業22.0%、建設業17.1%、飲食業12.8%、宿泊・旅行業3.5%等
	国連携新型コロナウイルス感染症対応貸付 【R2.5.1~R3.3.31】	億円 8,064	件 53,666	建設業26.0%、卸小売業19.8%、製造業19.5%、飲食業7.9%、宿泊・旅行業1.3%等
	新型コロナウイルス感染症対応枠(新) 【R2.4.28~R3.3.31】	億円 447	件 1,268	製造業22.4%、卸小売業19.5%、建設業19.0%、飲食業5.4%、宿泊・旅行業3.0%等
R 3	新型コロナウイルス感染症対応枠(新) 【R3.4.1~】	億円 186	件 2,279	建設業33.9%、卸小売業17.7%、製造業11.9%、飲食業11.0%、宿泊・旅行業1.5%等
	新型コロナウイルス感染症対応伴走支援 特別枠(新)【R3.4.1~】	億円 180	件 1,174	建設業23.2%、製造業21.6%、卸小売業20.5%、飲食業10.5%、宿泊・旅行業3.6%等
	再生支援企業貸付(新型コロナウイルス 感染症対応枠)(新)【R3.4.1~】	億円 6	件 20	製造業55.0%、運輸業30.0%、建設業15.0%、卸小売業0.0%、飲食業0.0%、宿泊・旅行業0.0%
計		億円 11,217	件 66,565	リーマンショック時：保証料承諾額 1,749億円 (H20.9~H21.8：1年間) 東日本大震災時：保証料承諾額 553億円 (H23.4~H24.3：1年間)

② 県内の新規求人数(季節調整値)の推移

業種別新規求人(一般+パート)前年同月比の推移

(%)

区分	R3年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
農・林・ 漁・鉱業	▲5.1	▲18.9	10.1	41.2	▲17.0	▲10.3	47.3	0.6	▲7.4	▲15.8	8.6	45.8
建設業	17.6	15.9	12.5	16.1	2.0	4.8	7.1	13.7	7.9	1.4	6.4	4.1
製造業	▲10.2	1.2	13.8	20.8	51.6	51.5	55.8	70.3	42.0	29.4	45.9	42.2
卸売・小売業	▲6.1	▲17.9	▲7.7	▲3.6	▲3.9	18.2	17.4	4.5	11.1	14.6	13.7	10.3
金融、保険 不動産業	▲35.6	▲25.1	12.7	▲15.0	7.3	11.1	▲20.5	33.3	6.1	▲35.6	35.7	9.7
運輸業	▲18.7	▲15.7	▲3.3	▲13.8	▲3.2	▲0.5	13.4	▲0.1	10.7	23.5	1.8	31.2
情報通信業	▲2.5	5.7	64.5	▲11.5	16.5	16.6	9.0	23.5	4.3	2.8	▲5.4	▲9.6
飲食、宿泊 サービス業他	▲10.0	▲6.9	1.3	27.0	31.8	8.8	48.8	24.8	4.6	26.2	17.5	17.8
県全体	▲3.0	▲7.8	1.7	11.4	14.3	15.2	23.5	16.5	11.5	13.5	17.8	15.2

(出典：静岡県内の最近の雇用情勢(静岡労働局))

③ 県内企業の倒産状況

業種別倒産件数(負債金額1千万円以上)の推移

(件)

区分	R3年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
農・林・ 漁・鉱業	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1
建設業	3	3	2	5	3	2	4	3	4	4	7	6
製造業	3	1	10	0	4	4	2	0	3	4	2	2
卸売・小売業	4	2	4	6	1	1	1	1	2	4	2	1
金融、保険 不動産業	1	4	1	1	0	1	2	1	2	1	1	0
運輸業	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0
情報通信業	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0
飲食、宿泊 サービス業他	3	3	1	4	6	3	3	3	4	6	5	3
県全体	15	13	18	18	15	13	13	8	15	20	19	13
うちコロナ 関連倒産	4	5	5	3	4	4	4	0	7	2	1	5

(出典：東京商工リサーチ静岡支店調べ)

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

11月 = 35,768百万円

*前年同月比： 0.1%減

(県内3百貨店、150スーパー合計)

<概況>

11月の大型小売店販売額は35,768百万円で、前年同月比 0.1%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 9.1%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、スーパー（同 1.9%減）が10か月連続で前年実績を下回った。

商品別では、衣料品（同 3.1%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、身の回り品（同 2.0%減）が6か月連続、飲食料品（同 1.3%減）が5か月連続、家庭用品（同 8.2%減）が7か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は0.8%減と、4か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
販売額(百万円)	34,190	35,975	35,897	36,878	35,700	33,849	35,908	35,768
前年同月比(%)	8.1	3.6	▲1.8	▲0.1	▲6.2	▲2.1	0.8	▲0.1
うち百貨店(%)	125.2	74.5	2.4	1.0	▲17.5	▲8.5	7.8	9.1
スーパー(%)	▲0.5	▲2.6	▲2.6	▲0.3	▲4.7	▲1.1	▲0.5	▲1.9
(参考1)全国前年同月比(%)	15.5	5.7	▲2.2	1.3	▲4.7	▲1.3	0.9	1.4
うち百貨店(%)	158.3	61.9	▲1.6	4.6	▲11.3	▲4.2	3.0	8.1
スーパー(%)	▲0.9	▲1.9	▲2.5	0.2	▲3.0	▲0.3	0.1	▲1.1
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	8.7	4.3	▲0.5	1.2	▲6.1	▲3.0	▲0.6	▲0.8

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
衣料品	109.5	28.7	▲13.2	3.8	▲22.6	▲10.4	0.8	3.1
うち紳士服・洋品	78.4	▲0.7	▲25.3	3.4	▲21.5	▲6.0	▲2.2	5.9
婦人・子供服・洋品	130.1	42.4	▲8.2	2.1	▲25.5	▲12.9	3.5	2.7
身の回り品	108.0	58.8	▲4.9	▲9.5	▲23.8	▲18.2	▲4.2	▲2.0
飲食料品	▲1.5	▲0.8	0.8	▲0.4	▲3.2	▲0.3	▲0.3	▲1.3
家庭用品	5.9	▲1.7	▲16.2	▲1.3	▲16.5	▲8.0	▲2.5	▲8.2
うち家庭用電気機械器具	6.3	▲3.6	▲20.9	▲6.9	▲25.0	▲13.2	▲4.3	▲17.0

(注)店舗数調整済、全月速報値

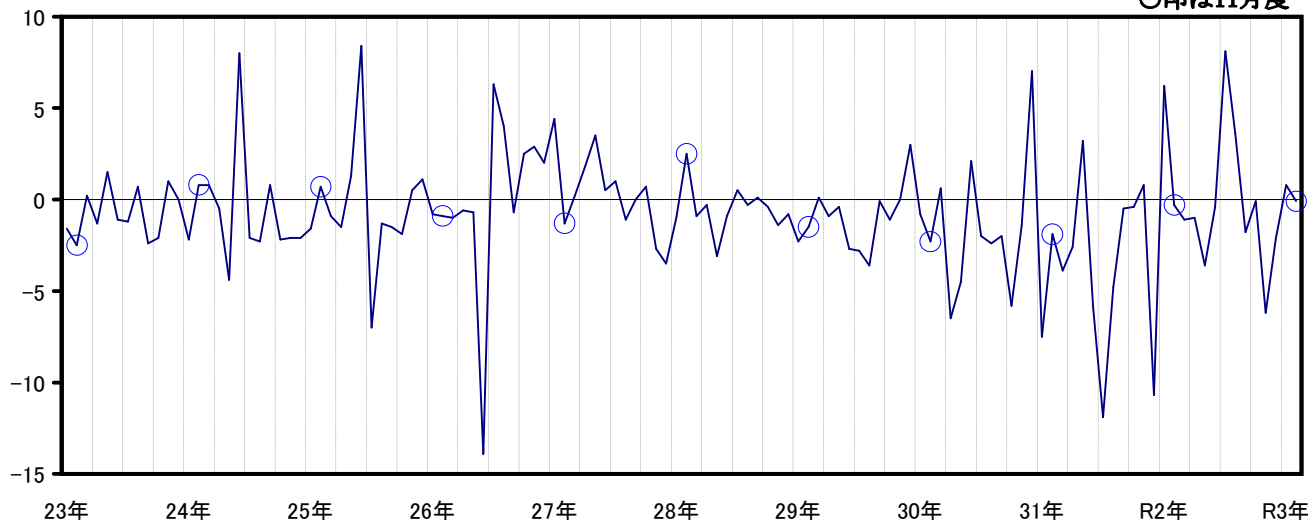
<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は11月度



(2) 専門量販店等販売額

11月 = 70,036百万円

*前年同月比： 3.6%減

(県内92家電大型専門店、1,684コンビニエンスストア、549ドラッグストア、106ホームセンター合計)

<概況>

11月の専門量販店等販売額は70,036百万円で、前年同月比 3.6%減となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。

業態別にみると、ドラッグストア（前年同月比 3.4%増）が7か月連続で前年実績を上回ったものの、家電大型専門店（同 11.2%減）が6か月連続、コンビニエンスストア（同 6.1%減）が4か月連続、ホームセンター（同 6.0%減）が10か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
販売額（百万円）	70,408	73,497	71,230	77,319	75,608	70,986	72,819	70,036
前年同月比（%）	1.7	1.3	▲ 3.3	2.0	▲ 5.9	0.4	1.1	▲ 3.6
うち 家電大型専門店（%）	9.7	3.4	▲ 22.7	▲ 9.4	▲ 22.5	▲ 7.0	▲ 2.1	▲ 11.2
コンビニエンスストア（%）	5.5	4.0	0.3	5.4	▲ 3.7	▲ 0.4	▲ 1.6	▲ 6.1
ドラッグストア（%）	▲ 2.7	2.6	4.4	5.0	4.1	5.8	6.5	3.4
ホームセンター（%）	▲ 3.7	▲ 10.4	▲ 10.8	▲ 2.1	▲ 18.8	▲ 4.0	▲ 1.4	▲ 6.0
(参考)全国前年同月比（%）	4.8	2.0	▲ 4.6	2.1	▲ 5.7	0.3	1.4	▲ 2.6

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

<資料>経済産業省

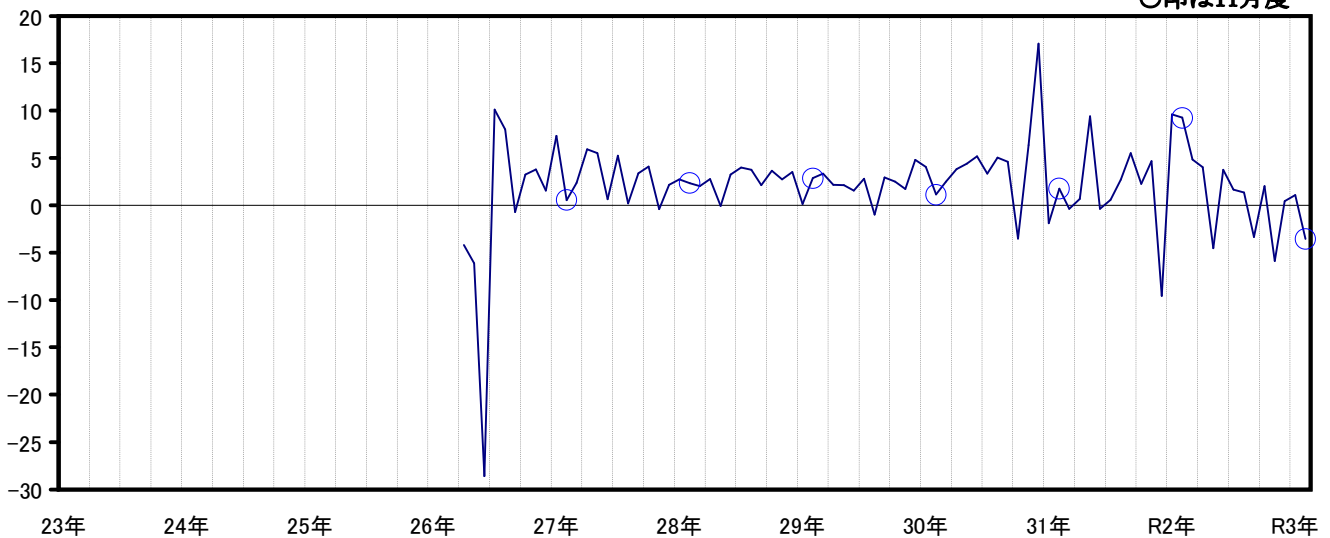
(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比（%）

<資料>経済産業省

○印は11月度



(3) 自動車(新車)新規登録台数**11月 = 12,083 台**

*前年同月比： 15.7%減

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

11月の自動車(新車)新規登録台数は12,083台(前年同月比 15.7%減)と、5か月連続で前年実績を下回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 12.0%減)が3か月連続、軽自動車(同 19.7%減)が5か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
登録台数(台)	12,497	10,774	12,350	13,429	11,008	10,296	9,239	12,083
前年同月比(%)	33.8	45.8	5.0	▲ 3.2	▲ 3.7	▲ 37.8	▲ 35.6	▲ 15.7
(参考)全国前年同月比(%)	31.5	50.0	4.5	▲ 6.4	▲ 2.5	▲ 34.3	▲ 32.2	▲ 13.4

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

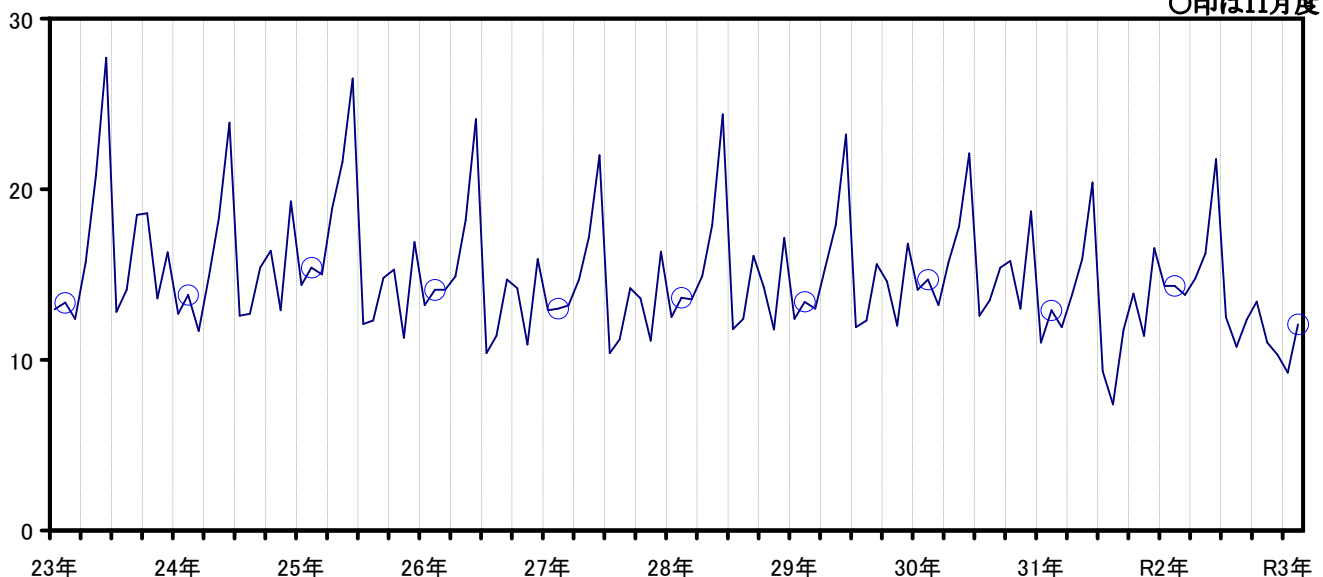
(単位：%)

	R3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
全乗用車	33.8	45.8	5.0	▲ 3.2	▲ 3.7	▲ 37.8	▲ 35.6	▲ 15.7
乗用車	31.5	27.7	4.4	2.5	4.4	▲ 38.4	▲ 35.0	▲ 12.0
軽自動車	36.4	69.1	5.6	▲ 9.2	▲ 11.6	▲ 37.2	▲ 36.2	▲ 19.7

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課
○印は11月度

(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

11月 = 1,939 戸

*前年同月比： 10.0%増

<概況>

11月の新設住宅着工戸数は1,939戸で、前年同月比 10.0%増と、2か月連続で前年実績を上回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 24.1%増）が8か月連続、貸家（同 8.4%増）が2か月連続、分譲住宅（同 48.8%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
戸数 (戸)	1,931	1,775	1,831	1,632	1,793	1,641	2,079	1,939
前年同月比 (%)	8.9	15.2	2.3	▲ 14.2	11.6	▲ 7.4	25.2	10.0
うち持家 (%)	6.7	24.9	7.0	5.2	20.8	2.4	17.0	24.1
貸家 (%)	21.0	3.4	4.9	▲ 31.1	6.0	▲ 30.3	71.7	8.4
分譲住宅 (%)	▲ 3.6	18.3	▲ 15.4	▲ 34.2	▲ 1.8	3.9	▲ 2.4	48.8
(参考)全国前年同月比 (%)	7.1	9.9	7.3	9.9	7.5	4.3	10.4	3.7

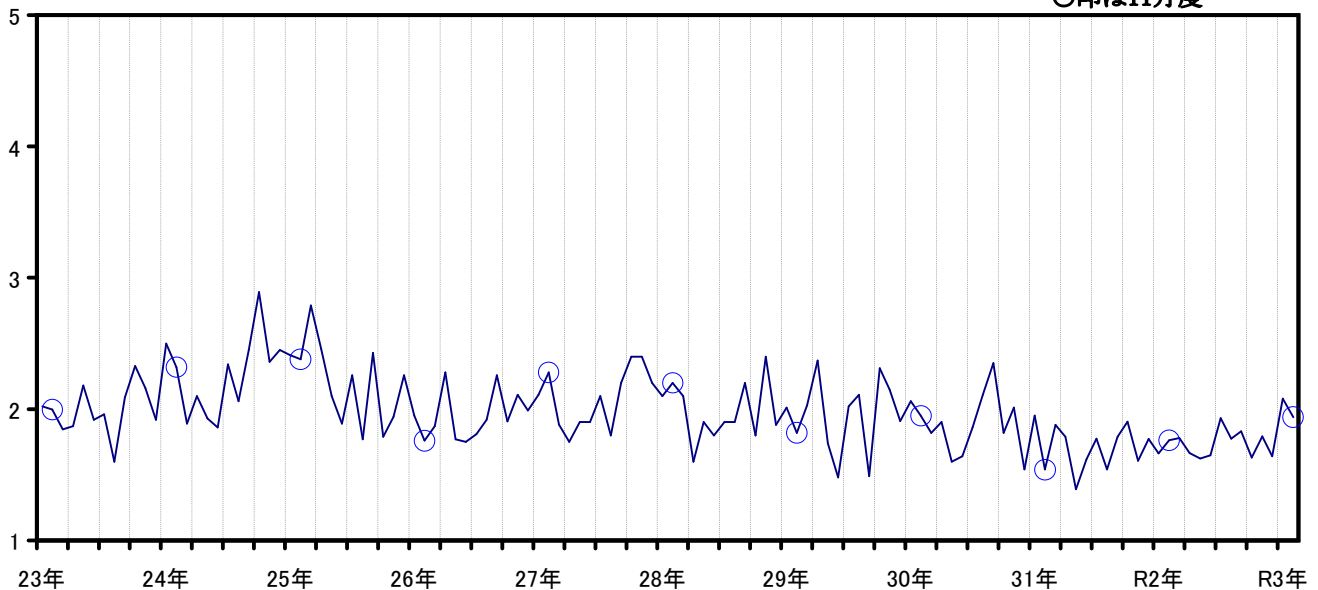
<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課

○印は11月度



3 公共工事請負金額

11月 = 15,796百万円

*前年同月比： 12.0%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

11月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は15,796百万円で、前年同月比 12.0%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は661件で、前年同月比 0.5%減となり、5か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
金額（百万円）	56,596	41,641	41,156	35,953	30,420	45,659	29,681	15,796
前年同月比（%）	▲ 17.5	▲ 19.9	▲ 33.3	▲ 12.8	▲ 18.3	▲ 14.1	35.7	▲ 12.0
年度累計前年同月比（%）	▲ 17.5	▲ 18.5	▲ 23.5	▲ 21.6	▲ 21.1	▲ 19.9	▲ 16.3	▲ 16.1
件数（件）	687	596	775	843	776	1,076	731	661
前年同月比（%）	3.5	20.6	6.6	▲ 1.6	▲ 0.8	▲ 15.5	▲ 6.8	▲ 0.5
年度累計前年同月比（%）	3.5	10.8	9.2	5.8	4.3	▲ 0.9	▲ 1.8	▲ 1.6

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

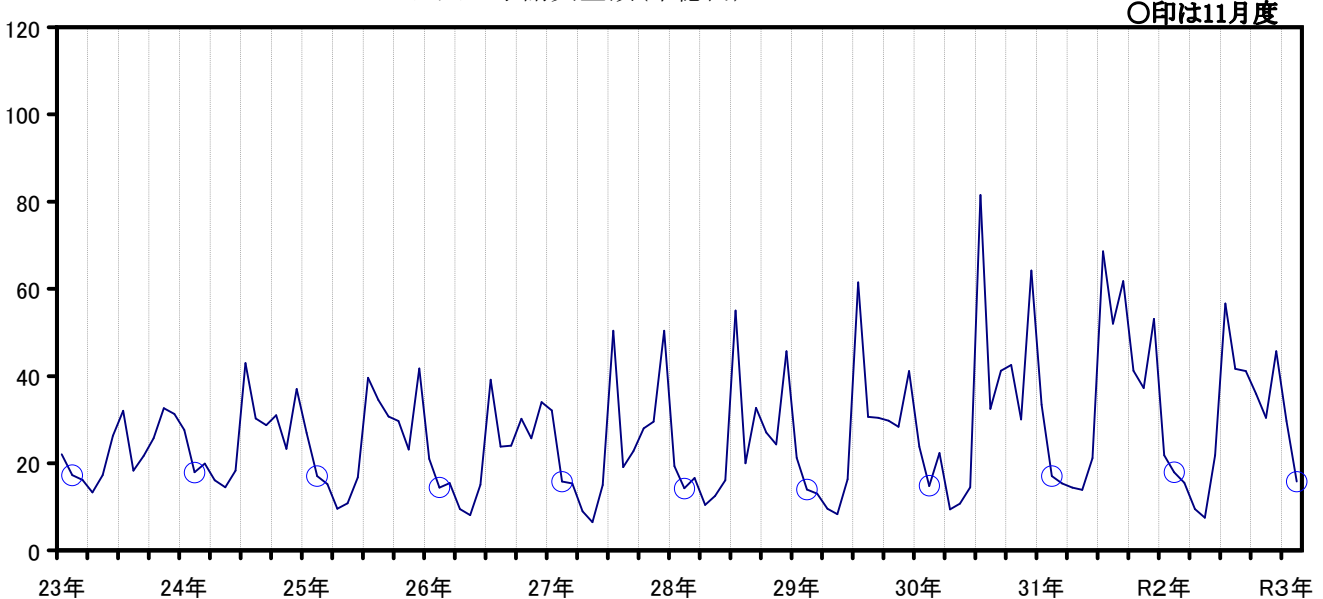
	R3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
国	56.5	37.3	▲ 9.3	▲ 9.1	▲ 29.5	▲ 2.7	2.6	▲ 41.5
独立行政法人等	▲ 51.9	▲ 47.4	▲ 72.3	▲ 49.2	▲ 82.3	35.8	199.7	▲ 71.2
県	▲ 17.5	7.7	11.6	14.5	1.8	▲ 17.2	5.8	▲ 7.3
市町	▲ 20.4	▲ 10.6	▲ 21.4	▲ 20.0	▲ 3.2	▲ 31.6	▲ 13.1	▲ 6.6
地方公社	1,120.8	-	-	▲ 23.3	1,120.6	▲ 62.7	▲ 70.6	▲ 96.2
その他	22.8	▲ 64.2	▲ 30.4	▲ 6.7	14.4	▲ 67.3	1,772.5	1,812.2

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

令和2年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも減少した。

令和3年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 27.7%増）で増加、非製造業（同 4.4%減）で減少、全産業（同 10.5%増）で増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 20.8%増）で増加、非製造業（同 0.6%減）で減少、全産業（同 14.6%増）で増加する計画となっている。

11月の着工建築物床面積（非居住用）は107,330㎡で、前年同月比 77.8%増となり、4か月連続で前年実績を上回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		R2年度 (実績)	R3年度 (計画)
全産業	県	▲10.8	(▲0.2) 10.5
	全国	▲8.5	(0.0) 7.9
製造業	県	▲17.2	(4.0) 27.7
	全国	▲10.0	(▲0.4) 11.6
非製造業	県	▲4.3	(▲4.7) ▲4.4
	全国	▲7.5	(0.2) 5.7

（ ）内は前回調査比修正率) ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R2年度 (実績)	R3年度 (計画)
全産業	県	▲7.6	(4.1) 14.6
	全国	▲8.5	(▲0.8) 8.5
製造業	県	▲8.3	(7.5) 20.8
	全国	▲7.7	(▲0.5) 9.5
非製造業	県	▲5.8	(▲4.8) ▲0.6
	全国	▲9.4	(▲1.0) 7.4

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（令和3年12月調査）」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」（令和3年12月調査）」

<最近の動き>

	R3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	93,072	66,308	114,873	108,318	135,765	110,714	129,560	107,330
前年同月比（%）	5.2	▲42.1	▲10.1	▲18.4	34.7	24.5	26.1	77.8
（参考）全国前年同月比（%）	3.0	4.9	12.6	5.9	▲14.6	▲4.9	46.6	10.9

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

		R3年9月	R3年12月	R4年3月 (予測)
全産業	全産業	▲5	2	0
	製造業	1	2	0
	非製造業	▲11	0	0
（参考）全国・全産業		▲2	2	0

（注4）業況判断D. I.：「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（令和3年12月調査）」

5 輸出

11月 = 192,521百万円

*前年同月比： 1.8%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

11月の清水税関支署管内の輸出総額は192,521百万円で、前年同月比 1.8%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、自動車（前年同月比 28.3%減）が6か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機（同 4.6%増）、二輪自動車類（同 7.1%増）がいずれも2か月ぶり、エアコン（同 5.8%増）、自動車の部分品（同 25.0%増）がいずれも9か月連続、科学光学機器（同 17.7%増）が5か月連続で前年実績を上回った。

地域別にみると、EU向け（前年同月比 20.1%減）が3か月連続で前年実績を下回ったものの、アジア向け（同 5.3%増）が2か月ぶり、米国向け（同 14.4%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
輸出総額(百万円)	202,397	198,629	217,026	215,432	192,201	212,554	193,150	192,521
前年同月比(%)	37.2	93.3	73.4	51.1	36.8	▲2.0	1.6	1.8

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
原動機	75.0	181.6	140.4	64.2	68.0	65.4	▲6.1	4.6
エアコン	21.9	211.2	90.9	65.3	20.4	18.7	7.1	5.8
自動車	250.5	407.7	▲41.6	▲41.5	▲39.2	▲46.1	▲31.8	▲28.3
自動車の部分品	13.1	85.9	103.2	109.5	51.3	47.4	9.6	25.0
二輪自動車類	71.7	322.1	211.1	83.3	115.3	11.9	▲17.7	7.1
科学光学機器	9.2	▲6.4	▲3.3	48.9	7.9	12.8	20.5	17.7

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
アジア	33.7	49.6	70.2	50.2	33.4	23.1	▲2.3	5.3
米国	16.3	115.3	105.2	81.0	52.0	▲27.7	11.1	14.4
EU	76.0	207.4	49.8	4.8	31.4	▲11.7	▲3.0	▲20.1

<資料>清水税関支署

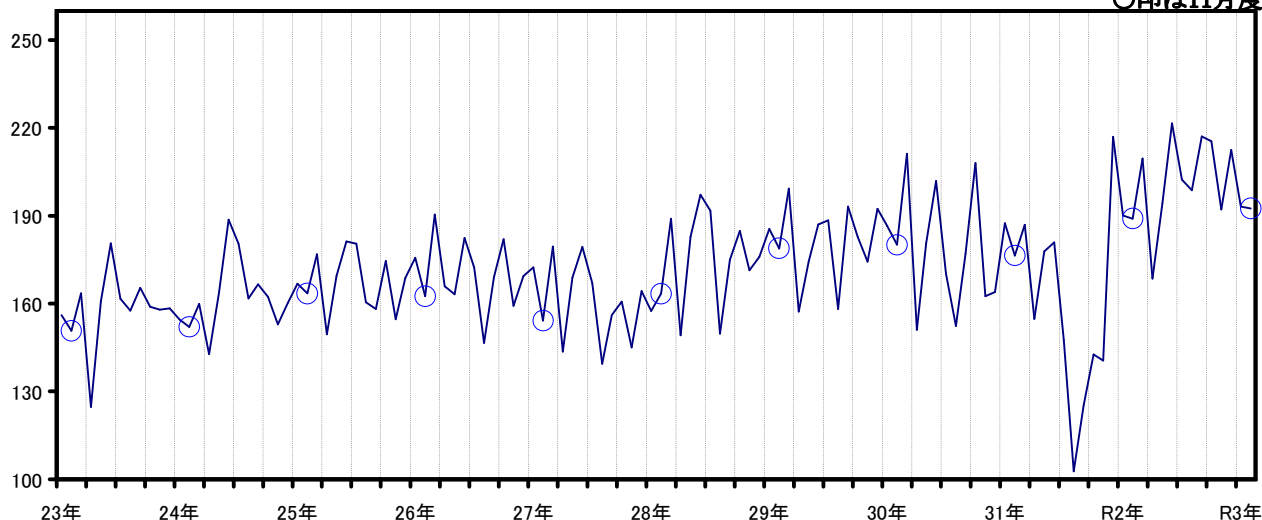
(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は11月度



6 輸入

11月 = 91,503百万円

*前年同月比： 6.2%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

11月の清水税関支署管内の輸入総額は91,503百万円で、前年同月比 6.2%増となり、10か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、紙類及び同製品（前年同月比 25.3%減）、自動車の部分品（同 21.3%減）がいずれも2か月連続で前年実績を下回ったものの、木材（同 40.4%増）が9か月連続、パルプ（同 104.7%増）が8か月連続、原動機（同 54.4%増）が10か月連続で前年実績を上回った。魚介類及び同調製品（同 0.0%増）は前年と同水準であった。

地域別では、アジア向け（前年同月比 4.6%増）、米国向け（同 4.4%増）がいずれも2か月ぶり、EU向け（同 20.9%増）が5か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
輸入総額(百万円)	101,089	93,740	99,695	101,724	90,603	96,346	91,158	91,503
前年同月比(%)	15.4	24.0	33.5	41.1	28.5	33.2	1.7	6.2

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
魚介類及び同調製品	9.9	17.0	▲ 21.9	22.3	37.4	9.9	0.7	0.0
木 材	6.7	5.8	8.1	24.8	72.5	169.4	49.0	40.4
パ ル プ	24.0	43.2	19.0	39.1	66.1	46.9	73.5	104.7
紙 類 及 び 同 製 品	▲ 16.0	▲ 10.3	▲ 14.5	▲ 18.4	26.8	13.3	▲ 27.3	▲ 25.3
原 動 機	10.0	52.6	44.8	86.4	110.2	47.8	29.2	54.4
自 動 車 の 部 分 品	13.5	67.0	136.0	54.6	47.0	50.1	▲ 2.0	▲ 21.3

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

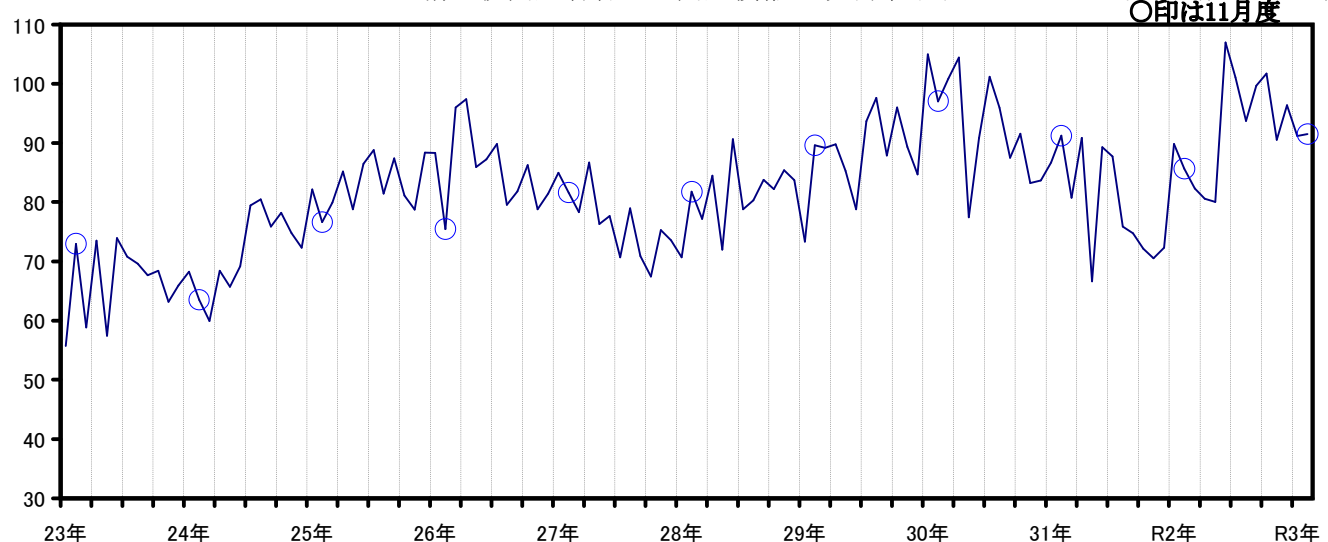
	R3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
ア ジ ア	21.0	35.7	41.2	36.2	26.3	28.5	▲ 9.8	4.6
米 国	17.2	▲ 38.9	1.3	42.8	▲ 1.8	50.5	▲ 5.7	4.4
E U	▲ 11.8	21.9	▲ 12.1	17.4	12.7	21.5	7.6	20.9

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生 産 面

1 生 産

(1) 鉱工業生産指数

11月 = 88.7

(平成27年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 3.0%増

*前年同月比(原指数) : 1.7%減

<概況>

11月の鉱工業生産指数(総合)は88.7(季節調整済指数)で、前月比は3.0%増と、2か月連続で上昇した。また、前年同月比(原指数)は1.7%減と、3か月連続で前年水準を下回った。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比5.6%増)が8か月連続、化学(同9.5%増)が2か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同3.3%増)が7か月連続で前年水準を上回ったものの、電気機械(同15.6%減)が5か月連続、輸送機械(同6.3%減)が6か月連続、食料品・たばこ(同0.6%減)が4か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
指 数	102.5	90.7	93.9	90.3	90.2	82.3	86.1	88.7
前 月 比 (%)	6.3	▲ 11.5	3.5	▲ 3.8	▲ 0.1	▲ 8.8	4.6	3.0
前 年 同 月 比 (%)	31.6	22.8	8.7	▲ 1.3	0.1	▲ 11.1	▲ 9.6	▲ 1.7
(参考)全国前年同月比(%)	15.8	21.1	23.0	11.6	8.8	▲ 2.3	▲ 4.1	5.1

(注)平成27年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
はん用・生産用・業務用機械工業	22.2	24.3	19.3	30.8	27.3	37.2	22.8	5.6
電 気 機 械 工 業	35.9	25.7	21.3	▲ 11.3	▲ 7.8	▲ 20.6	▲ 20.0	▲ 15.6
輸 送 機 械 工 業	101.8	64.6	▲ 3.9	▲ 16.1	▲ 12.0	▲ 33.0	▲ 21.6	▲ 6.3
化 学 工 業	13.6	▲ 4.4	4.4	1.7	3.7	1.1	▲ 2.5	9.5
パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 0.3	1.7	3.2	5.6	6.8	2.3	0.4	3.3
食料品・たばこ工業	1.4	4.4	1.6	5.7	▲ 4.3	▲ 7.5	▲ 6.8	▲ 0.6

(注)平成27年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

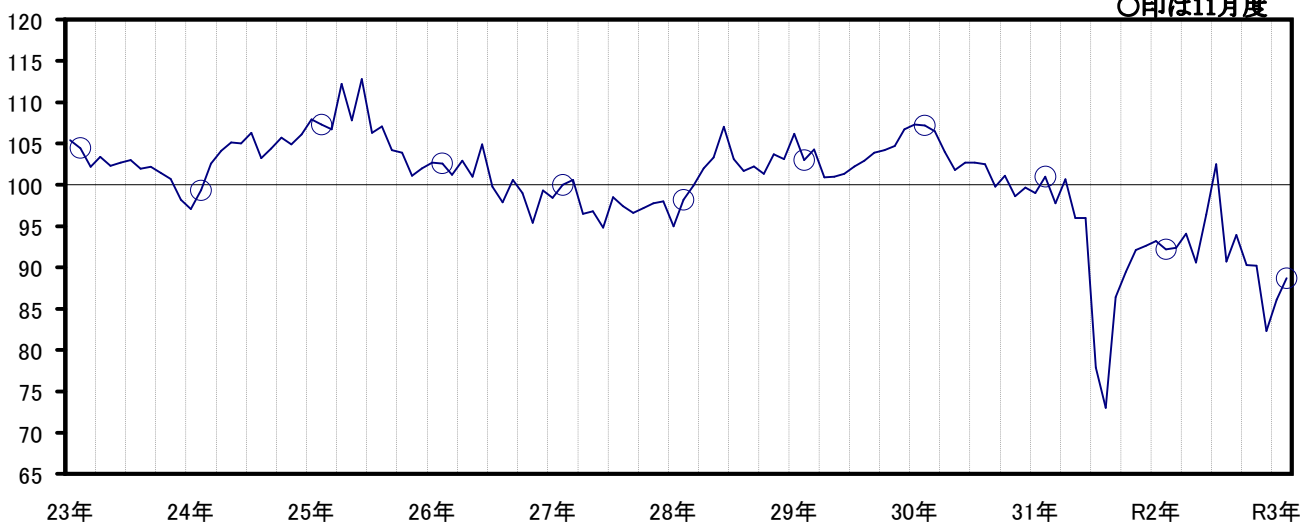
<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課

○印は11月度



(2) 鋳工業在庫指数

11月 = 104.1

(平成27年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

* 前月比(季節調整済指数) : 1.7%減

* 前年同月比(原指数) : 0.0%増

<概況>

11月の鋳工業在庫指数(総合)は104.1(季節調整済指数)で、前月比は1.7%減と、2か月連続で下降した。また、前年同月比(原指数)は0.0%増と、前年と同水準であった。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。業種別にみると、電気機械(前年同月比 3.9%減)が2か月連続、輸送機械(同 13.9%減)、パルプ・紙・紙加工品(同 5.1%減)がいずれも6か月連続、化学(同 5.6%減)が3か月ぶりに前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同 1.4%増)が3か月連続、食料品・たばこ(同 14.6%増)が3か月連続で連続前年水準を上回った。

<最近の動き>

	R3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
指数	105.3	102.2	102.6	99.4	101.3	106.7	105.9	104.1
前月比(%)	4.6	▲2.9	0.4	▲3.1	1.9	5.3	▲0.7	▲1.7
前年同月比(%)	▲2.7	▲5.8	▲3.2	▲7.5	▲4.2	1.5	2.9	0.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲9.8	▲8.7	▲5.0	▲4.5	▲3.7	0.5	2.2	5.6

(注)平成27年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲14.9	▲0.1	▲10.1	▲10.9	▲2.6	2.3	2.3	1.4
電気機械工業	5.5	▲3.3	▲1.3	8.2	15.8	4.8	▲0.1	▲3.9
輸送機械工業	87.9	11.9	▲3.1	▲16.1	▲18.1	▲17.0	▲16.6	▲13.9
化学工業	▲9.0	▲16.7	▲9.3	▲7.8	▲8.2	3.6	5.4	▲5.6
パルプ・紙・紙加工品工業	7.4	0.3	▲5.2	▲2.4	▲5.4	▲5.3	▲3.8	▲5.1
食料品・たばこ工業	▲16.3	▲7.2	4.0	▲12.2	▲1.2	7.6	22.3	14.6

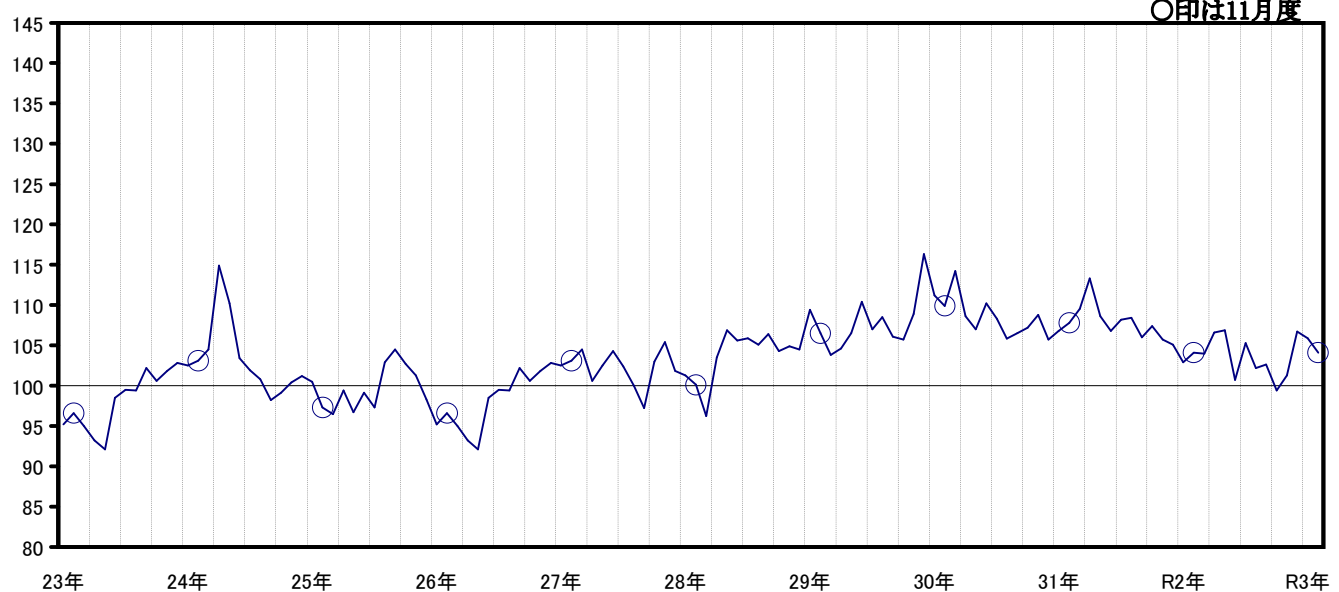
(注)平成27年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

11月 = 1.13倍

*前月比(季節調整値) : 0.03ポイント減

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

<概況>

11月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.13倍となり、前月を0.03ポイント下回った。10か月連続で1倍台となった。また、6か月ぶりに全国値を下回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比19.0%増)は8か月連続で前年実績を上回った。

産業別にみると、情報通信業(前年同月比4.3%減)が2か月連続、運輸業・郵便業(同9.2%減)が5か月ぶりに前年実績を下回ったものの、建設業(同8.8%増)が14か月連続、製造業(同52.3%増)が10か月連続、卸売業・小売業(同14.7%増)が6か月連続、医療・福祉(同20.8%増)が9か月連続、サービス業(他に分類されないもの)(同23.2%増)が10か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

(単位:倍)

	R3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
県	1.01	1.08	1.14	1.22	1.23	1.21	1.16	1.13
全 国	1.09	1.09	1.13	1.15	1.14	1.16	1.15	1.15

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	R3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
建設業	13.6	0.9	7.5	7.4	14.7	6.7	1.5	8.8
製造業	18.4	55.2	49.8	60.5	81.3	41.2	40.1	52.3
情報通信業	▲18.1	10.2	▲1.0	▲0.5	19.5	17.6	▲5.0	▲4.3
運輸業・郵便業	▲12.1	▲6.2	▲3.8	24.9	0.1	29.2	18.5	▲9.2
卸売業・小売業	11.1	▲6.9	22.6	24.4	6.4	2.6	21.5	14.7
医療・福祉	3.9	6.4	9.1	11.4	12.9	3.1	7.5	20.8
サービス業(他に分類されないもの)	31.1	35.1	43.4	91.1	34.6	30.5	34.8	23.2
合計	12.1	13.0	16.7	29.7	18.2	14.3	15.6	19.0

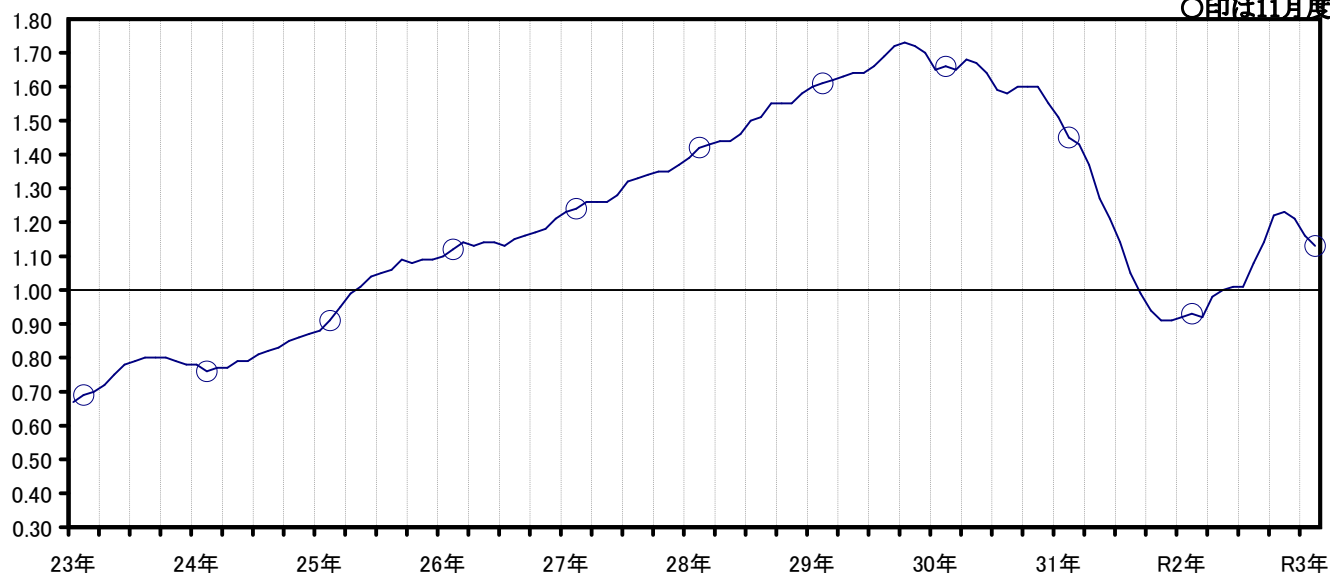
(注)学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

11月 = 11,479人

*前月比: 6.4%減

*前年同月比: 21.5%減

<概況>

11月の雇用保険受給者実人員は11,479人で、前月比は6.4%減と、4か月連続で前月を下回った。また、前年同月比は21.5%減と6か月連続で前年実績を下回った。

完全失業率(全国)は2.8%と前月から0.1ポイント悪化した。

静岡県(令和3年7~9月)の完全失業率は2.4%で、前期(令和3年4~6月)から0.2ポイント改善した。

<最近の動き>

	R3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
実人員(人)	12,153	12,079	12,876	13,183	13,112	12,737	12,261	11,479
前月比(%)	▲3.0	▲0.6	6.6	2.4	▲0.5	▲2.9	▲3.7	▲6.4
前年同月比(%)	23.0	3.7	▲9.2	▲18.6	▲22.2	▲23.7	▲23.1	▲21.5
(参考)全国前年同月比(%)	23.6	8.4	▲1.8	▲9.0	▲11.6	▲16.0	▲18.1	▲13.2

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
完全失業率(全国)(%)	2.8	3.0	2.9	2.8	2.8	2.8	2.7	2.8

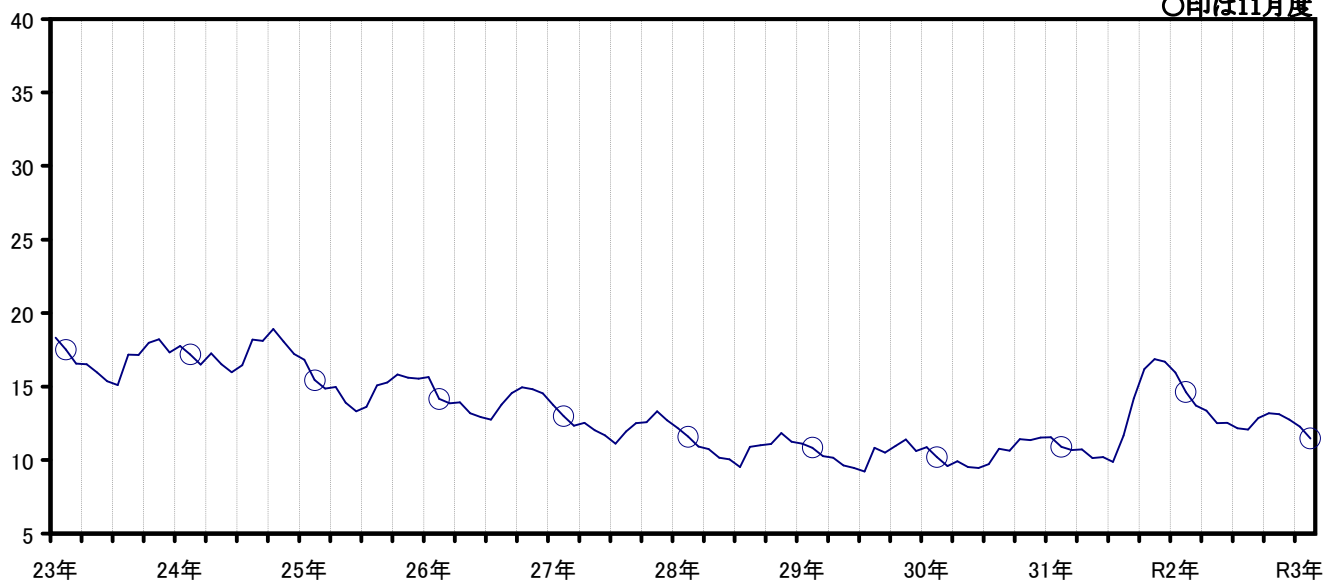
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省
○印は11月度



(3) 所定外労働時間指数

10月 = 74.5

*前月比(季節調整済指数): 4.2%増

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 2.9%増

<概況>

10月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は74.5(季節調整済指数)で、3か月ぶりに前月を上回った。また、前年同月比(原指数)は2.9%増と、2か月ぶりに前年実績を上回った。

業種別にみると、製造業(前年同月比3.7%減)が7か月ぶり、情報通信業(同10.2%減)が23か月連続、医療・福祉(同10.0%減)が3か月連続で前年実績を下回ったものの、建設業(同57.8%増)が4か月ぶり、運輸業・郵便業(同21.0%増)が7か月連続、卸売業・小売業(同27.0%増)が4か月連続、その他のサービス業(同31.5%増)が11か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R3年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
指数	80.1	82.1	77.7	80.5	83.7	79.7	71.5	74.5
前月比(%)	12.7	2.5	▲5.4	3.6	4.0	▲4.8	▲10.3	4.2
前年同月比(%)	▲8.0	13.4	35.5	29.3	25.3	12.7	▲1.9	2.9
(参考)全国前年同月比(%)	0.9	15.2	28.9	22.6	15.5	10.2	5.7	3.5

*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R3年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
建設業	▲29.3	▲19.5	39.4	13.6	▲10.9	▲15.5	▲28.8	57.8
製造業	▲7.7	22.7	73.6	39.2	39.1	22.8	0.9	▲3.7
情報通信業	▲32.6	▲15.5	▲19.8	▲27.2	▲34.6	▲8.0	▲8.5	▲10.2
運輸業・郵便業	▲5.7	10.7	18.7	51.2	33.1	31.0	15.8	21.0
卸売業・小売業	▲20.8	▲20.7	1.6	▲3.1	32.8	33.7	24.1	27.0
医療・福祉	▲19.4	0.0	▲9.2	▲7.1	5.1	▲10.1	▲13.7	▲10.0
その他のサービス業	76.8	108.9	87.0	80.3	60.4	41.2	41.2	31.5
調査産業計	▲8.0	13.4	35.5	29.3	25.3	12.7	▲1.9	2.9

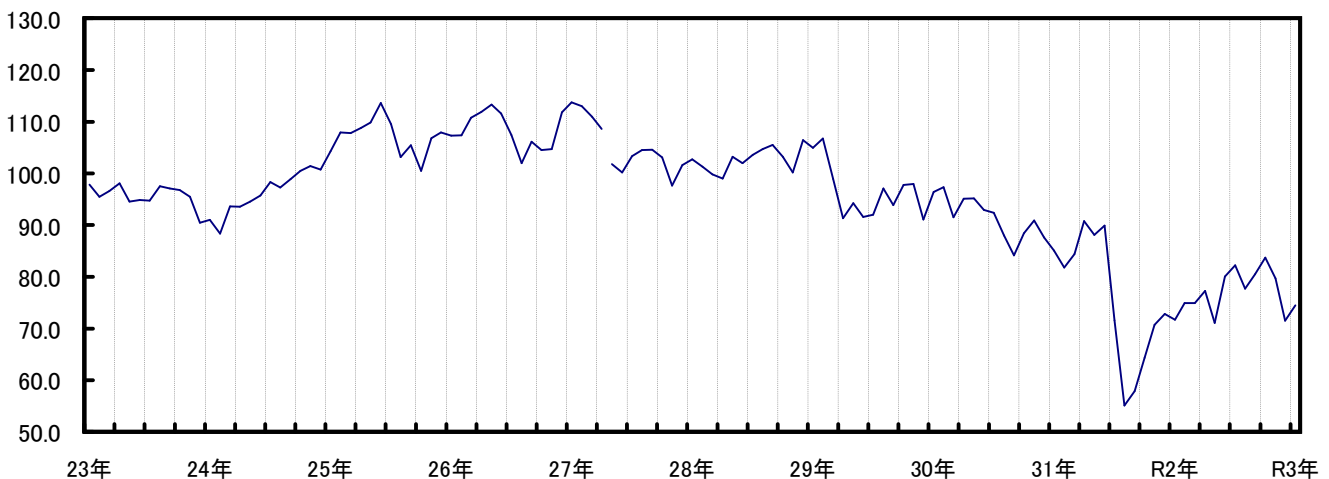
*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

12月 = 108.7

*前月比: 0.2%下落

(平成27年=100)

*前年同月比: 8.5%上昇

<概況>

12月の国内企業物価指数は108.7となり、前月比は0.2%の下落となった。また、前年同月比は8.5%の上昇となった。

	R 3年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
国内企業物価指数	103.9	104.8	105.9	106.4	106.8	108.2	108.9	108.7
前月比 (%)	0.7	0.9	1.1	0.5	0.4	1.4	0.7	▲ 0.2
前年同月比 (%)	4.9	5.2	5.8	5.9	6.5	8.3	9.2	8.5

*平成27年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

11月 = 142,603億円

*前月比: 0.0%増

(銀行、信用金庫)

*前年同月比: 1.8%減

<概況>

11月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は142,603億円で、前月比は0.0%の増加となった。また、前年同月比は1.8%の減少となった。

	R 3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
貸出残高(億円)	144,230	143,987	143,740	143,574	143,032	143,213	142,571	142,603
前月比 (%)	▲ 0.5	▲ 0.2	▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 0.4	0.1	▲ 0.4	0.0
前年同月比 (%)	4.2	0.9	▲ 0.4	▲ 1.1	▲ 1.4	▲ 1.4	▲ 1.9	▲ 1.8

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

11月 = 1.384%

*前月差: 0.010ポイント減

(県内地銀4行総平均)

*前年同月差: 0.062ポイント減

<概況>

11月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.384%で、前月から0.010ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.062ポイントのマイナスとなった。

	R 3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
貸出約定金利 (%)	1.420	1.416	1.409	1.406	1.403	1.396	1.394	1.384
前月差(ポイント)	▲ 0.005	▲ 0.004	▲ 0.007	▲ 0.003	▲ 0.003	▲ 0.007	▲ 0.002	▲ 0.010
前年同月差(ポイント)	▲ 0.065	▲ 0.066	▲ 0.056	▲ 0.057	▲ 0.057	▲ 0.057	▲ 0.054	▲ 0.062

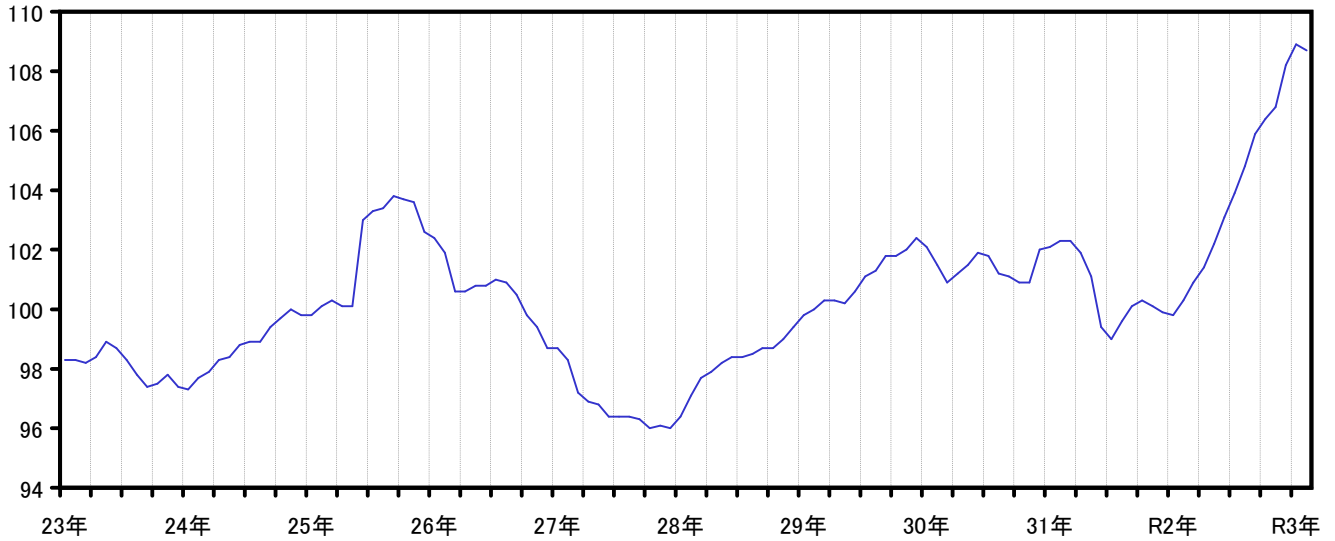
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

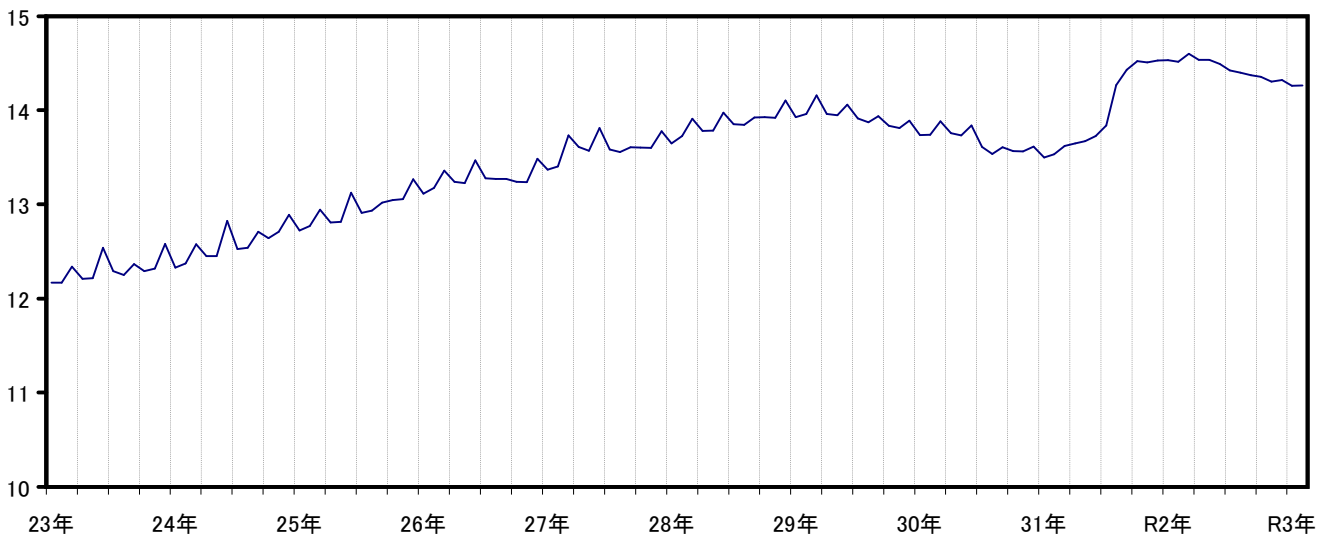
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



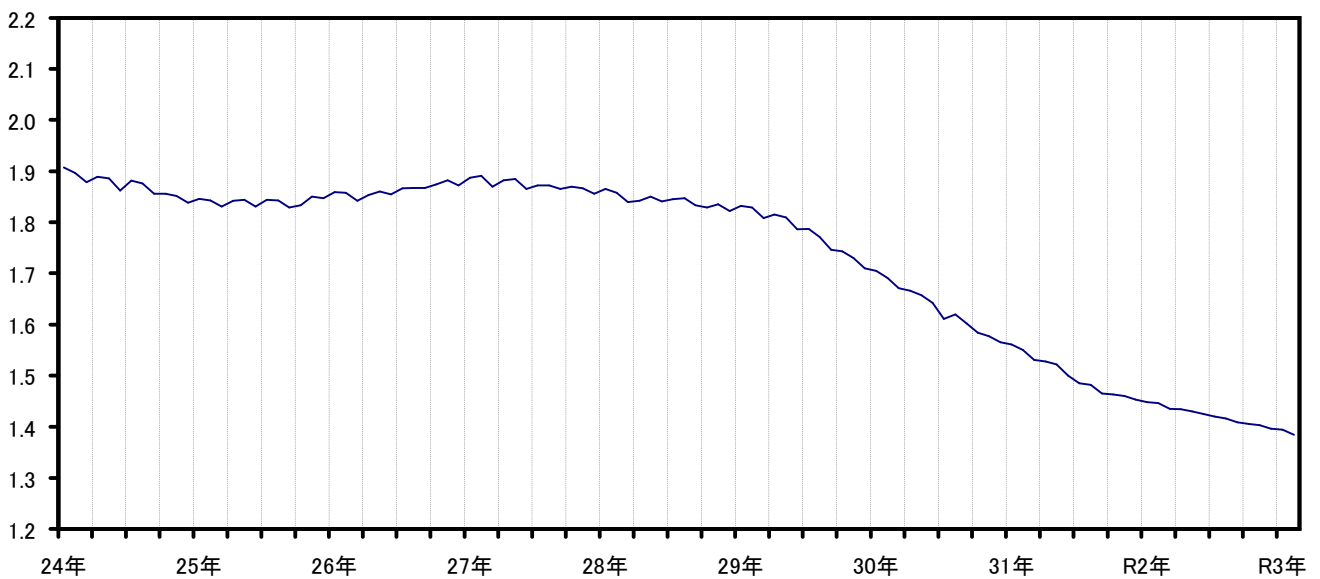
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**11月 = 18,311百万円**

*前年同月比： 42.9%増

<概況>

11月の保証承諾は、金額は18,311百万円（前年同月比 42.9%増）、件数は1,677件（同 46.4%増）と、いずれも21か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 3年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
保証金額（百万円）	35,272	12,187	14,632	14,174	15,609	16,487	14,839	18,311
前年同月比（%）	26.7	7.1	8.4	9.8	26.0	35.7	37.2	42.9
保証件数（件）	2,794	1,197	1,527	1,405	1,636	1,795	1,516	1,677
前年同月比（%）	45.4	14.0	12.6	13.6	34.1	46.8	43.5	46.4

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**12月 = 113.87円/ドル**

*前月差： 0.26円高

(東京・銀行間直物中心・平均)

*前年同月差： 10.05円安

<概況>

12月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は113.87円で、前月と比べて0.26円の円高となり、4か月ぶりに円高となった。

<最近の動き>

	R 3年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均相場（円）	109.19	110.11	110.29	109.84	110.17	113.10	114.13	113.87
前月差（円）	0.06	0.92	0.18	▲ 0.45	0.33	2.93	1.03	▲ 0.26
前年同月差（円）	1.88	2.55	3.51	3.80	4.43	7.86	9.73	10.05

▲…円高

(注)東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****12月 = 13件**

*前年同月比： 31.5%減

<概況>

12月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は13件（前年同月比 31.5%減）、負債総額は1,278百万円（同 34.1%減）と、いずれも前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が13件と全体の100.0%を占め、289か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

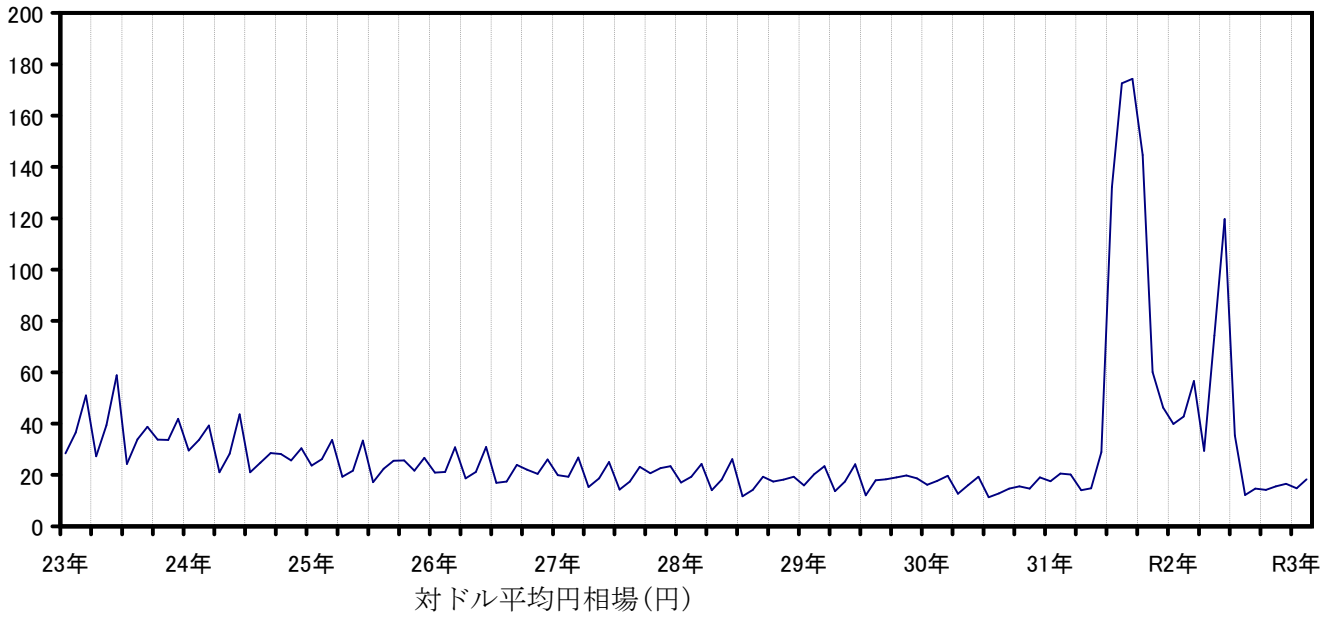
	R 3年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
倒産件数（件）	15	13	13	8	15	20	19	13
前年同月比（%）	36.3	▲ 59.3	▲ 18.7	▲ 42.8	15.3	81.8	18.7	▲ 31.5
うち不況型倒産件数(件)	12	11	12	4	15	14	16	13
負債総額（百万円）	2,492	1,544	1,263	835	1,037	22,541	1,191	1,278
前年同月比（%）	49.3	▲ 35.6	▲ 27.0	▲ 56.2	▲ 8.7	2,686.2	▲ 28.1	▲ 34.1

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社

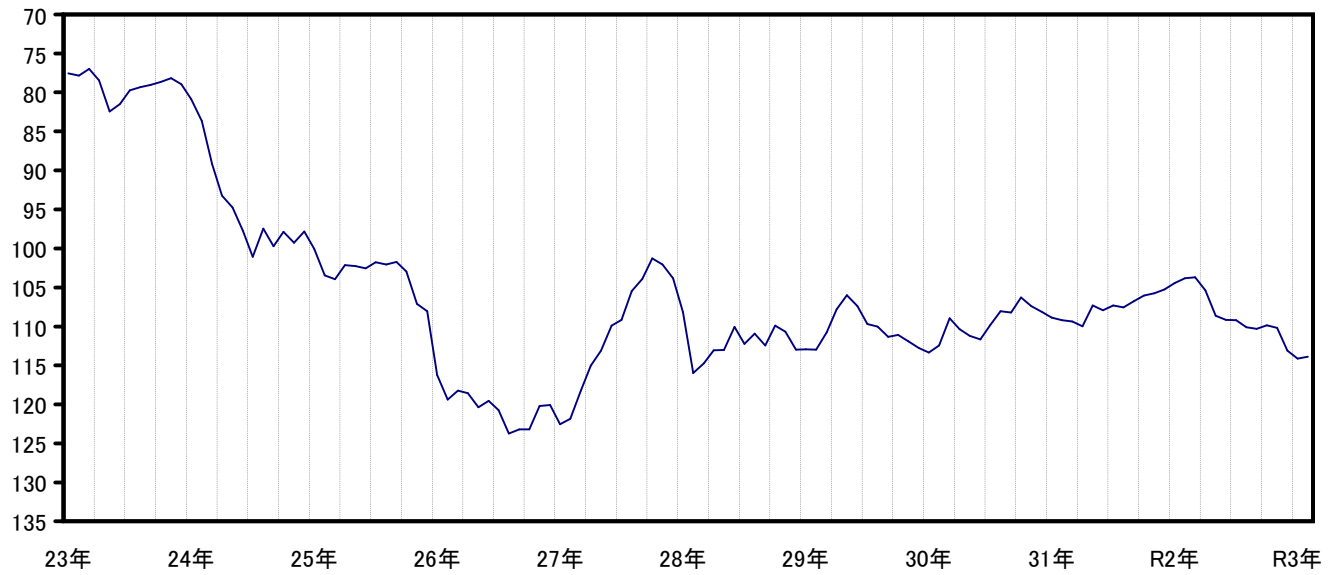
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会

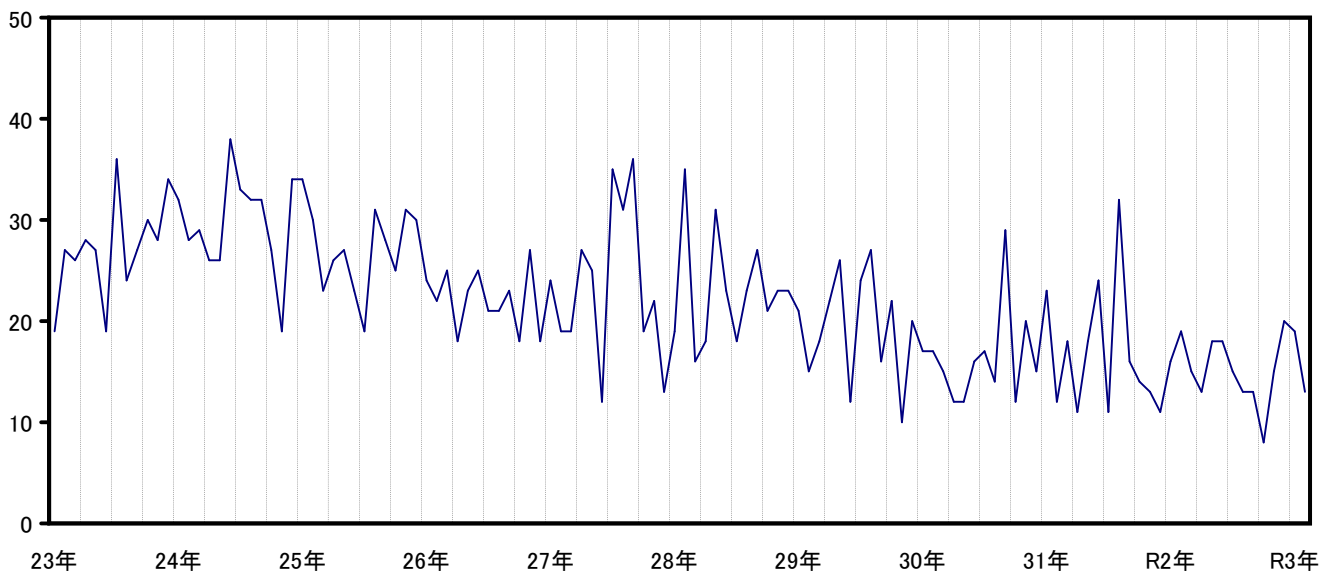


対ドル平均円相場(円)



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 令和3年11月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>10月の国内二輪車生産台数は、44,776台（前年同月比 4.7%増）で、9か月連続で前年実績を上回った。原付第一種（50cc以下）は、10,373台（同 9.4%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、4,420台（同30.8%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、4,609台（同 16.1%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、25,374台（同 3.9%増）で、9か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、31,816台（同 6.3%増）で、7か月連続で前年実績を上回った。輸出向けは、34,417台（同 14.8%増）で、9か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>10月の自動車国内生産台数は、515,942台（前年同月比 38.4%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。輸出は246,175台（同 41.5%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、乗用車が3か月連続、トラックが2か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>11月の冷蔵庫の国内出荷額は338億円（前年同月比 5.7%増）で、6か月ぶりに前年実績を上回り、国内出荷台数は275千台（同 6.0%増）で、6か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>11月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは408千台（同 17.3%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。業務用は68千台（同 5.8%増）で、4か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>11月の携帯電話の国内出荷台数は、1,165千台（同 4.1%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、889千台（同 12.7%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は76.3%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>11月の工作機械の受注総額は、1,454億100万円（前年同月比 64.0%増）で、13か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は954億円（同 54.8%増）で、13か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが437億2,200万円（同 32.5%増）で、17か月連続で前年実績を上回った。内需は500億100万円（同 84.9%増）で、9か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>県内中小企業や関連団体からは、「半導体関連は好況続くが、他の分野はやや動きが鈍っている。特に、部品調達懸念から短納期の受注は断らざるを得ない状況にある。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

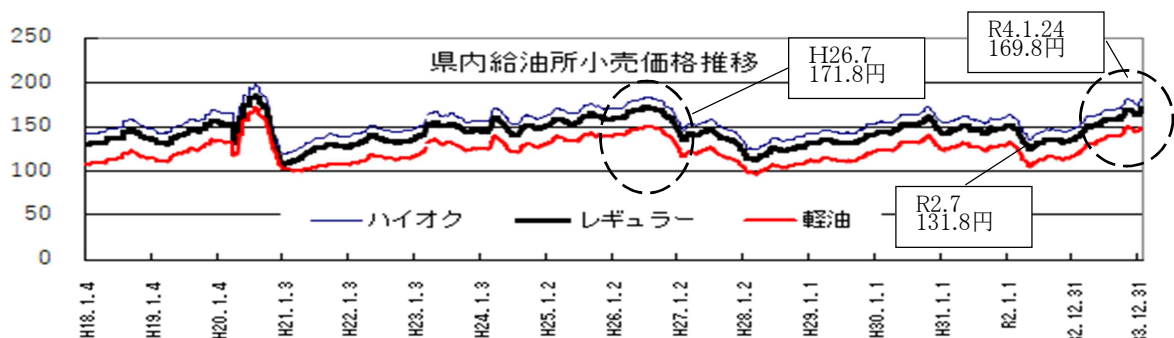
業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>11月の県内楽器メーカーの販売金額は、49億3,439万円（前年同月比 3.8%増）で、9か月連続で前年実績を上回った。内訳は輸出向けが28億5,836万円（同 6.9%増）で、国内向けが20億7,603万円（同 0.2%減）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は3,487台（同 5.7%増）であった。機種別では、アップライトピアノが2,401台（同 6.3%増）、グランドピアノが1,086台（同 4.3%増）であった。また、販売台数は、輸出向けが2,535台（同 4.3%減）、国内向けが1,255台（同 20.6%増）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>11月の紙・板紙の国内出荷高は、1,916千ト（前年同月比 3.3%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。内訳は、紙は928千ト（同 0.9%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。板紙は989千ト（同 5.7%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、491千ト（同 0.9%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。ティシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、159千ト（同 5.2%増）と、7か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>11月の県内生産量は、食缶類が国内向け1,005千箱（前年同月比 0.4%増）と8か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は702千箱（同 0.5%増）と9か月ぶりに前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶は422千箱（同 11.2%減）と、9か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は303千箱（同 0.1%増）と2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが6,195千箱（同 3.6%増）と、3か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>11月の広幅織物の県内生産は、814千㎡（前年同月比 3.5%増）で、5か月連続で前年実績を上回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、766千㎡（同 3.6%増）で、5か月連続で前年実績を上回った。別珍・コールテンの生産は、48千㎡（同 1.3%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、13千㎡（同 23.7%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>11月の全国百貨店での家具販売額は、45億2,265万円（前年同月比 1.1%増）と2か月連続で前年実績を上回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、645億3,376万円（同 5.5%減）と7か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>11月の県内百貨店・スーパーの販売額は、35,768百万円（既存店前年同月比 0.1%減）と前年実績を下回った。品目別に見ると、衣料品が前年実績を上回ったものの、身の回り品、飲食料品、家庭用品が前年実績を下回った。</p> <p>中部の百貨店への聞き取りによると、前年同月と比較して、来客数は減少したが、売上げが増加した。特に、紳士服、インテリア用品、雑貨（美術・宝飾・貴金属等）が好調であった。コロナ禍で、売場の回遊よりも、明確に買いたい物があって来店する客が多く、客単価が高い傾向が出ている。</p> <p>東部の専門店への聞き取りによると、映画館等サービス施設において、前年に大きな集客があったことの反動減が響き、全体の売上げ及び来客数が前年同月と比べて減少した。一方で、食料品や雑貨、服飾品などは売上げを伸ばしている。</p> <p>中部の食品スーパーへの聞き取りによると、内食需要の高まりから、特に惣菜や酒類が好調で、売上げ及び来客数が増加した。売上げが好調の中でも前年とはトレンドが変わっており、今年は買ってすぐ食べられる簡便商材が好調である。</p> <p style="text-align: right;">〈資料〉 関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>令和3年11月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約44万人で、前年同月比 7.2%減となった。</p> <p>昨年度の11月は、国のGoToトラベルの実施期間であったことから前年同月比は減となったものの、本県独自の「バイ・しずおか～今こそ！しずおか!! 元気旅!!!～」を実施したため、一昨年度の入込数よりも増加していると考えられる。</p> <p>主要有料道路（4路線※1）の合計通行車両数は、約61万台となり、前年同月比 1.1%減となった。</p> <p>※1 令和元年10月から（遠州大橋（新掛塚橋）が令和元年9月28日から無料化されたため）。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞ 静岡県観光政策課</p>

＜原油高の状況について＞

新型コロナウイルス感染症からの経済活動再開に伴う需要増大や、海外情勢の不安定化などにより原油価格が上昇。

足もとの県内ガソリン等小売価格は、レギュラー169.8円/Lと、平成26年7月以来の高水準。



○支援策（国・県）

出典：石油情報センター

資金繰り支援	原油価格上昇により粗利益が減少した事業者への県制度融資（県）
燃油価格補填	燃油価格が一定基準を上回った場合にその差額を補填（国） （対象：施設園芸農家、茶生産者、漁業者・養殖業者）
省エネ機器導入支援	茶の生産・加工関連の省エネ機械等のリース導入支援（国）
その他（国）	・ガソリン平均価格が170円/Lを超えた場合、5円を上限に石油元売りに補助 ・国家備蓄の一部（約400万バレル目安）を放出（米中等と協調し実施）

＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

<二輪車>

	R3年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
完成車生産台数(台)	29,543	23,811	16,652	22,864	22,599	20,832	17,275	16,733	27,103
前年同月比(%)	43.2	28.9	245.4	86.3	63.1	44.6	▲18.7	▲20.0	30.3
KD輸出額(百万円)	1,396	1,376	785	1,066	1,166	926	1,476	1,075	1,427
前年同月比(%)	▲8.4	27.3	2,321.4	102.8	126.7	82.9	124.4	▲17.8	24.4

<楽器>

	R3年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
生産総額(百万円)	3,003	3,133	2,621	3,331	3,064	2,563	3,003	3,020	3,056
前年同月比(%)	▲5.2	56.9	131.9	56.5	31.8	42.4	28.3	4.6	8.6

<缶詰>

	R3年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
食缶生産高(千ケース)	1,013	1,063	966	1,117	1,027	975	1,065	1,043	1,005
前年同月比(%)	0.7	▲9.4	▲12.6	▲2.4	▲3.3	▲5.2	▲4.7	▲2.4	0.4
うち水産缶詰(%)	▲4.4	▲13.4	▲16.0	▲7.9	▲5.4	▲7.1	▲11.2	▲2.6	0.5
農畜産缶詰(%)	11.1	1.1	▲2.8	13.4	2.0	▲0.2	13.0	▲2.0	0.1
飲料缶生産高(千ケース)	7,768	8,200	7,865	7,478	7,698	7,702	5,606	5,805	6,195
前年同月比(%)	▲6.0	5.9	12.6	4.0	▲9.2	5.0	▲13.7	▲7.2	3.6

<繊維>

	R3年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
広幅織物(千㎡)	714	703	661	683	664	579	648	685	814
前年同月比(%)	▲38.6	▲31.6	▲12.5	▲6.7	0.2	0.4	1.2	2.8	3.5
小幅織物(千㎡)	18	18	15	16	14	13	13	14	13
前年同月比(%)	▲16.3	▲10.2	▲12.3	4.7	34.9	0.7	▲14.0	▲13.0	▲23.7

<観光>

	R3年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
延べ宿泊者数 (千人泊)	1,222	1,070	1,096	908	1,355	1,636	901	1,203	1,500
前年同月比(%)	0.2	132.0	184.1	35.3	29.1	4.9	▲26.4	▲17.3	▲8.3
観光施設(10施設)入込 (千人)	377	413	430	217	251	267	89	390	442
前年同月比(%)	9.3	215.5	1,906.7	▲7.3	12.3	▲31.4	▲73.9	▲1.5	▲7.2
有料道路(4路線)通行量 (千台)	555	526	559	496	611	610	499	570	608
前年同月比(%)	4.3	65.5	77.1	18.1	25.0	▲11.2	▲10.4	▲0.5	▲1.1

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
令和4年1月号 通巻549号

発行 静岡県経済産業部
令和4年1月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>